

◆企画名 「関大生協×KUSP 料理企画第7弾～パエリアって何ですの～」

日 程 平成27年4月23日(木)

場 所 総合学生会館凜風館2階 生協食堂

参加者数 29名(ピア・サポータ7名、一般学生22名)

目 的

本企画は主に下宿生を対象とした企画であり、比較的入手しやすい食材を使用して料理を作り、その調理方法を体得してもらうことで参加者の料理のスキルアップ、及び今後の下宿生活に活かしてもらうことを目的に実施した。また他学部や他学年の学生と共同で料理を作ることを通して交流の機会を提供し、関西大学に馴染むこと、関西大学の学生としての帰属意識を高めることを狙いとした。

内 容

関大生協の方からパエリアの作り方を教わり、実際に学生が調理を行った。調理後はパエリアを食べながら参加者同士交流を深め、また関大生協の方に参加者が栄養や料理に関する質問をする時間を設けた。

効 果

- ・他学部や他学年の学生と共同で料理を作ることを通して交流が行われた。
- ・目的であった参加者の料理のスキルアップ、及び今後の下宿生活に活かしてもらうことが達成できた。

改 善 点

- ・例年の反省を活かし、撤収までの時間を大幅に縮めることができた。しかしスケジュール通り進行できなかったため、撤収時間の20時を過ぎてしまった。
- ・カセットガスボンベの点検を怠っていた(空のものも持って行ってしまった)。
- ・当日連絡なしの欠席者が出た場合の対応を決めていなかった。
- ・エプロンの数の確認を怠っていた。
- ・3人の班も4人分の材料の準備があり、欠席が出た場合も含めて、不公平にならないようにするための対応策を考えていなかった。
- ・当初の予定より広報期間が短くなってしまった。
- ・関大生協の方との連絡調整や伝達が不十分だった。
- ・準備が行き当たりばったりだった。
- ・新入生への広報に苦戦した(STEP企画での告知はできたが、申込みまでつなげることができなかった)。

感 想

当日までの準備をメンバーで協力し、全体で把握して進めることができなかった。春休みから準備を開始したにも関わらず、直前の準備がギリギリになり、広報期間を長く取ることができなかったことが一番の反省点である。しかし当日は関大生協の方のご協力のおかげもあり、和気あいあいとスムーズに実施することができた。

参加者アンケートでは、料理や参加者同士の交流を楽しめたなどの感想があり、本企画が目的としていた結果が得られた。一般参加者(特に新入生)の割合が例年に比べ小さかったのは、調理メニューではなく開催時期や広報期間、対象の設定によるものだと考えられる。しかし、学生間の交流の機会を提供するという目的は達成でき、参加者の満足度も高い企画であったため、今後も継続して企画を実施していきたい。